

事業概要【北広島ふるさと夢プロジェクト事業】

| | | | | | | | | |
|--------------------------------|--|---|--------|--|----------|--|-----------------------|--|
| 申請者 | 広島県北広島町 | | | | | 初回採択回 | 令和7年度第1回募集 | |
| 事業計画期間 | R7-R9年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 19,500千円 (6,500千円) | |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | 事業分野 | 地方への人の流れ分野 | |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none"> 町内の児童・生徒が北広島町の魅力、自然、文化や伝統の素晴らしさを体感し、ふるさと「北広島町」を再認識させる。また、地域の大人と関わり、地域の大人の頑張っている姿を見させること、町内同学年の仲間意識を醸成させることで、北広島町の子どもを小中高を通じて鍛え、育て、磨き、残すという好循環を生み出していく。ふるさとへの愛着は、児童・生徒の中に思い浮かぶ北広島町の大切な人の顔、場所、思い出の多寡にかかっていると考えており、ふるさと北広島町に愛着を持たせる事業を計画、実施することで、児童生徒、若者世代の定住を促進させ、地元愛に溢れる地方創生人材の育成を目指す。 | | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費 | <p>【事業概要】 北広島ふるさと夢プロジェクト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町内お宝発見ツアー ガイド報償費50千円×7校 = 350千円 会場使用料 4千円×7校 = 28千円 計378千円 ○町内民泊 指導者報償費395千円（田舎暮らし）、指導者報償費182千円（川魚つかみどり）、トレッキングガイド料 66千円、会場使用料18千円 計661千円 ○きたひろロケット 講師旅費・謝金、講演機材郵送料、会場使用料 計754千円 <p>地元高校支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公営塾「知与塾」運営費用 3,632千円 ○オープンスクールに関する費用 367千円 ○神楽講師報償費 82千円、陸上講師報償費 50千円、会場使用料 31千円 ○地域清掃活動 消耗品費50千円 ○緑まんプロジェクト 講師謝金27千円、消耗品費 150千円 ○高校生E・C・S交流事業 委託費50千円 ○台湾姉妹校交流 謝金0千円、消耗品費20千円 ○就職促進 謝金216千円、交通費32千円 | | | | |  | | |
| 地域の多様な 主体の参画 | <p>産業界として、町内民間事業者と連携し、町子どもたちを地域一丸となって育てるべく、地元企業としてどいった企業があるか児童生徒に紹介し、将来就職先の候補としてあげられるようなルート形成をめざす。</p> <p>子どもたちと一番近くで接する学校現場でも、管理職のみならず教職員全体でふるさとへの愛着形成を目指し、学校運営協議会、地域学校協働本部とも連携のもと児童生徒の満足度を高める。</p> <p>金融界からは事業内容において、KPIを踏まえながら効果的な事業実施となるよう、PDCAを実行する際の助言をいただく。</p> <p>マスコミは、地元ケーブルテレビや新聞などを通じて、事業について広く県内の方に知らせることで、北広島町の取り組みを周知し、地域の方のみならず他地域の方にも広報するし、取材をしてもらう中でも事業内容についての効果的な手法についても助言をいただくことで、より魅力的な事業とするようにする。</p> <p>地域住民等にも積極的に事業に参加してもらうことで、改めて町子どもたちはみんな育てるという認識を持ってもらう。事業を行う中で、若者育成についての意見もいただき課題解決に生かす。</p> | | | | | <p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ①子育て世帯（0歳～18歳の子どもがいる世帯）の転入世帯数の増加（+11世帯） ②町内公立中学校から町内高等学校への進学割合（+8%） ③町内高校卒業者の就職割合のうち、町内出身者の町内企業への就職人数（+3人） |

事業概要【多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業】

| | | | | | | | |
|---|--|---|--------|--|----------|--|--|
| 申請者 | 山形県小国町ほか46自治体※ | | | | | 初回採択回 | 令和7年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R7-R9年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 3,895,362千円 (1,319,812千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | 事業分野 | 人や企業の地方分散 |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none"> • 全国の小規模市町村が広域に連携することで、地域・学校の壁を越えた学びの機会と人の流れを創出し、地域課題解決型の人財を育成する • さまざまな地域との交流を通じて、生徒達が「複眼的かつ客観的な視点で、地域課題を分析・解決できる力」を養うと中で、地域に愛着をもった関係人口となり、将来にわたって各地域の持続可能性向上に貢献する | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small> | <p>【事業概要】全国の市町村とともに「小規模市町村ネットワーク」を形成し、以下の3つのテーマに沿った取組を行っていく。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>①デジタル活用による、地域・学校の壁を越えた課題解決型人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン課外活動等の実施（委託費等）26,664千円 ・人材育成サポートスタッフの配置・育成（人件費等）89,449千円 <p>②新たな人の流れづくりを通じた多層的な関係人口の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外も含む多様な生徒募集の実施（実施経費等）93,511千円 ・多様な留学生の受け入れ体制整備（委託費等）508,469千円 ・多様な留学生の受け入れ施設の整備・改修（改修費等）301,744千円 ※交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費の対象 <p>③自走化に向けた成果の見える化、及び社会資源獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源獲得プロジェクトに係る費用（委託費等）41,281千円 | | | | | <div style="text-align: center;"> <p>市町村ネットワーク 47市町村による共助・共創</p> <p>単独では対応困難な事業を協働で推進</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <div style="background-color: #d9e1f2; padding: 5px; border-radius: 5px;">デジタル活用による人材育成</div> <div style="background-color: #f4cccc; padding: 5px; border-radius: 5px;">新たな人の流れづくり</div> <div style="background-color: #d9ead3; padding: 5px; border-radius: 5px;">見える化、資源獲得</div> </div> <p>持続可能なかたちでの課題解決型人材の育成</p> <div style="background-color: #fce4d6; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center;"> <p>・地域に愛着を持つ関係人口の増加</p> <p>・各地域の持続可能性向上</p> </div> </div> | |
| 地域の多様な 主体の参画 | <p>参画市町村（官）、各地域の高校（学）に加えて、地域教育、人材、旅行、国際などの分野に専門性を持つ民間・公益団体（産・金）が参画し、小規模市町村ネットワークと連携する。これにより、越境プログラム、海外との連携、持続可能な運営に向けた支援など、多角的な取組を推進する。さらに各地域においても、商工会等の経済団体、地域金融機関、大学・研究機関など、多様な関係者が連携し、地域資源を活かした交流機会や大学・研究機関の専門的な知見等を反映し、取組の改善にも取り組む。</p> | | | | | <p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> | <ul style="list-style-type: none"> ★①外部から地域に越境し居住する中高生の数（+258人） ②越境プログラムに参加した中高生の数（+179人） ③オンラインプログラムに参加した中高生の数（+494人） ④課題解決型人材の育成に係る指標（+12.0ポイント） |

※山形県小国町、北海道夕張市、北海道上ノ国町、北海道奥尻町、北海道二セコ町、北海道音威子府村、北海道幌加内町、北海道苫前町、北海道湧別町、北海道大空町、北海道むかわ町、北海道上土幌町、北海道鹿追町、北海道標津町、岩手県花巻市、岩手県西和賀町、岩手県大槌町、岩手県岩泉町、山形県金山町、山形県遊佐町、福島県只見町、福島県金山町、新潟県胎内市、新潟県阿賀町、石川県能登町、福井県坂井市、長野県白馬山麓事務組合、静岡県伊豆市、静岡県川根本町、京都府京丹波町、奈良県五條市、島根県奥出雲町、島根県川本町、島根県海士町、岡山県真庭市、岡山県和気町、広島県北広島町、広島県大崎上島町、愛媛県砥部町、高知県土佐町、高知県本山町、鹿児島県錦江町、鹿児島県南大隅町、沖縄県久米島町、北海道平取町、北海道弟子屈町、宮崎県えびの市の広域連携事業

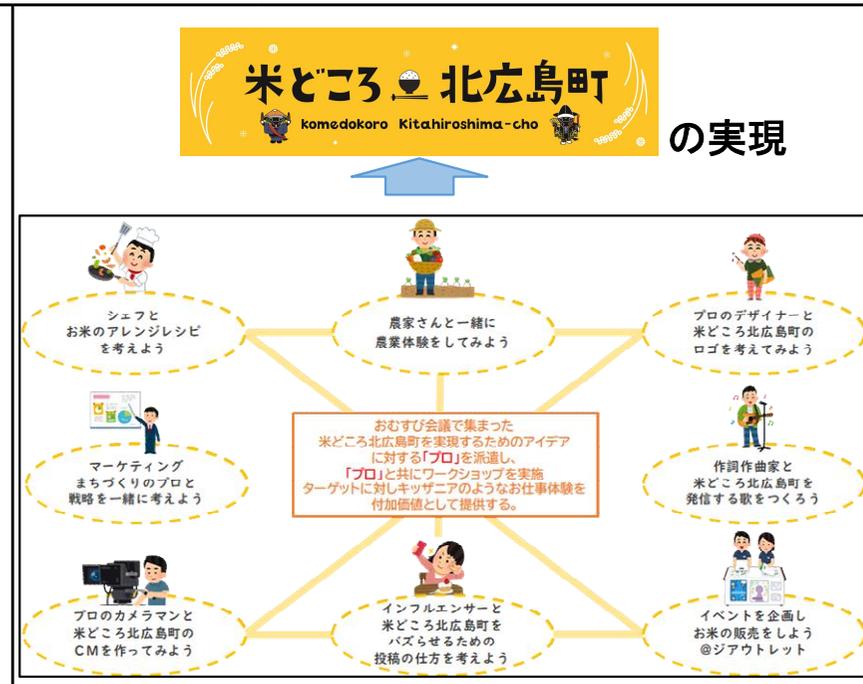
事業概要【農業振興によるまちづくり推進事業】

旧制度（推進）

| | | | |
|----------|----------------|----------------------------|--------------------|
| 申請者 | 広島県北広島町 | 初回採択回 | 令和5年度第1回募集 |
| 事業計画期間 | R5～R7年度 | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 25,000千円（10,000千円） |
| 事業タイプ・類型 | 地方創生推進タイプ・横展開型 | 事業分野（詳細） | 農林水産分野 |

| | |
|--------|---|
| 目的（効果） | <ul style="list-style-type: none"> ・町民と将来ビジョンを共有することで協働のまちづくりの促進を図る ・「米どころ北広島町」のブランディングにより農業者の所得向上、農業経営の安定化を図る ・コンソーシアムの活動を活性化させることで新たなビジネスを創造し地域産業の活性化を図る ・多様な情報発信ツールを活用してまちの魅力を発信することで関係・交流人口の拡大を図る |
|--------|---|

| | |
|---------------|--|
| 事業概要・ 主な経費 | <p>①「農業振興によるまちづくり」推進事業 将来ビジョン効果検証業務委託費 事業実施状況の確認を行うとともに、事業実施効果の検証を行うことにより事業内容の見直し、検討を行いながら事業実施効果を高めていく。（PDCAの実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興によるまちづくりに関するアドバイザー招聘費用 300千円×2回＝600千円 ・効果検証・分析・報告業務 1,000千円 <p>②コンソーシアムの活動安定化支援 コンソーシアムの自立に向けた事業検討及び実証事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マーケティング等の専門人材の活用による北広島町産米のブランド化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング等の専門人材招聘費用 300千円×3回＝900千円 ・「米どころ北広島町」のPR冊子の作成 1,000千円 ・コンソーシアム独自ブランド米の開発と新たな販売ルートの開拓 <ul style="list-style-type: none"> 販路拡大に向けた商談会の開催 2,000千円 都市部での農産物販売促進イベントの開催 1,100千円 ○農業を「する」「楽しむ」「学ぶ」といった要素を活用した都市住民との交流機会の創出による関係・交流人口の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・農業を活用した交流促進の専門人材招聘費用 300千円×3回＝900千円 ・農業を「する」だけではなく、「楽しむ」「学ぶ」といった要素を取り入れたツアーの開催 <ul style="list-style-type: none"> プレイベント開催経費 500千円×3回＝1,500千円 ○「米どころ北広島町」ブランディング事業の効果検証・分析・報告等業務 1,000千円 |
|---------------|--|

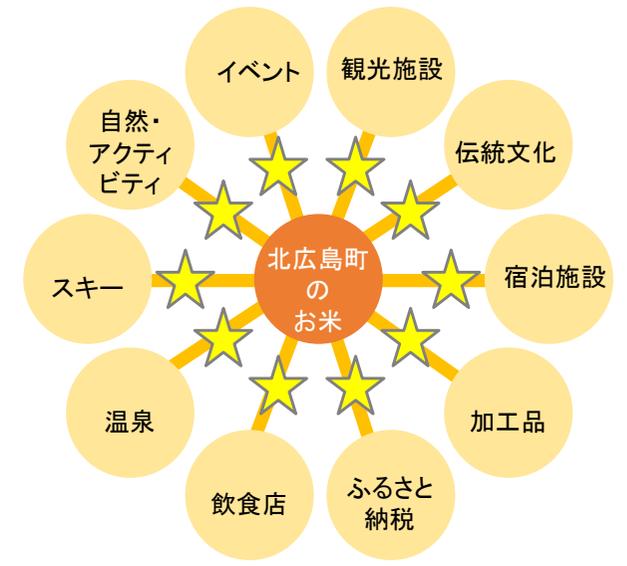


| | | | |
|--|---|-------|---|
| KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 | <ul style="list-style-type: none"> ①将来ビジョンに基づく新たな取り組み件数（+5件） ②全日本お米グランプリin北広島町への応募点数（+200点） ③農業の担い手確保（新規就農者）の人数（+6人） | 関連URL | https://www.town.kitahiroshima.lg.jp/soshiki/4/48197.html |
|--|---|-------|---|

事業概要【目的観光地としての食（白米）魅力発信事業】

旧制度（推進）

| | | | |
|--|--|----------------------------|---|
| 申請者 | 広島県北広島町 | 初回採択回 | 令和5年度第2回募集 |
| 事業計画期間 | R5～R7年度 | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 28,000千円（5,000千円） |
| 事業タイプ・類型 | 地方創生推進タイプ・横展開型 | 事業分野 | 観光分野 |
| 目的（効果） | <ul style="list-style-type: none"> 北広島町へ新しい人の流れを作り、関係人口増を図る 特定ターゲットに対してSNSでリーチしていく SNSによる本町の魅力情報発信を図る | | |
| 事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費 | <p>■ 統一感のある世界観構築のためのSNSによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北広島白米観光誘客推進協議会(おこめのわわわ)での調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興によるまちづくりに関するアドバイザーによる伴走支援費用 2,640千円 ・効果検証・分析・報告業務 440千円 ・「白米を食べにくる」ことを主とした視覚化・言語化の実装 ○SNSの活用講座・情報発信教育 220千円 ○魅力あるデジタルコンテンツの拡充、および情報共有とSNS拡散の実施 1,700千円 | | |
| KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 | <ul style="list-style-type: none"> ①北広島町公式観光サイトの「白米提供飲食店(宿泊施設含む) 関連ページ」へのアクセス数（+1,857PV） ②北広島町SNSのフォロワー数（+775人） ③SNSにおいて「北広島町へ来訪して白米を食べた」ことに関する投稿数+シェア数（+450人） ④SNS発信講習会に参加した延べ住民人数（+100人） | 関連URL | https://www.town.kitahiroshima.lg.jp/soshiki/4/48197.html |



事業概要【神楽と花田植を活用した活力創出プロジェクト事業】

| | | | | | | | |
|--------------------------------|--|---|--------|---|----------|---|--|
| 申請者 | 広島県北広島町 | | | | | 初回採択回 | 令和7年度第2回募集 |
| 事業計画期間 | R7-R9年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費) | 167,298千円 (43,000千円) |
| 経費の種類 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | ✓ | インフラ整備事業 | 事業分野 | 地方経済の創生 |
| 目的・効果 | <p>【1. 神楽振興計画の策定】町の伝統芸能である神楽・花田植を観光振興の柱と位置づけ、目的と課題を整理するために「神楽振興計画」を策定する。これにより地域資源の価値を明確にし、体系的な取組を推進する基盤を整備する。</p> <p>【2. デジタル情報発信の強化】SNSやホームページなどのデジタルツールを活用し、観光情報の発信を強化。また、インバウンドにも対応した情報発信プラットフォームを構築し、広範囲な認知獲得を目指す。</p> <p>【3. 観光客向け体験ツアー開発】神楽鑑賞や花田植などを組み込んだ体験型ツアーを商品化し、インバウンドを含め、観光目的地としての町の魅力を高める。</p> <p>【4. 都市部でのプロモーション展開】神楽の魅力を広く発信するため、大都市圏での神楽公演や観光PRイベントを実施。イベントを通じて、町の伝統芸能を体験できる場を提供し、誘客促進につなげる。</p> <p>【5. 若者の関与】将来の神楽や花田植の担い手となる若者を町内外から積極的に巻き込む仕組みを構築。体験・学習・参加の機会を設け、都市部の若者と町との継続的な関係人口の増加を目指す。</p> <p>【6. 海外公演の実施と国際的な発信強化】神楽や花田植を海外の文化イベントや日本関連フェスティバルで上演し、町の伝統文化の魅力を世界に直接発信する。海外公演により、国際的な関心の喚起や文化的評価の向上を図る。</p> <p>【7. 道の駅の受入機能向上整備】道の駅を伝統芸能が体験・鑑賞できる観光拠点としての施設機能向上整備を行い、来訪者の満足度と魅力発信を強化する。</p> | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費 | <p>【事業概要】 町が誇る伝統芸能(神楽・花田植)を核として若者を町内外から積極的に巻き込む仕組みを構築しつつ観光目的地化を推進する。</p> <p>【ソフト事業経費: 43,000千円】</p> <p>1. 神楽振興計画策定事業(1,496千円) 本事業を明確な課題と目標を設定し、実行する計画書の作成</p> <p>2. 地域内伝統芸能プロモーション(11,539千円) ①旅行商品化: ツアー造成 ②情報発信: HP・SNS新規構築 ③主要神楽大会PR ④若者参画(高校・大学等) ⑤グッズ開発 ⑥若者活用型イベントワークショップ</p> <p>3. 都市圏プロモーション(4,965千円) ①営業活動: トップセールス等 ②イベント開催: 宮島・都市圏公演</p> <p>4. 海外公演(25,000千円) 町の伝統芸能を海外で披露し、世界にその魅力を発信</p> | | | | |   | |
| 地域の多様な 主体の参画 | <p>本事業では、町内外の高校・大学と連携して若者が主体となった情報発信や体験イベントを展開するとともに、NPO神楽芸術研究所、神楽協議会、壬生の花田植保存会といった地域の伝統芸能の担い手や専門家とも協働し、文化的意義を踏まえながら、道の駅の定期公演や商品開発を通じて収益化を図り、地域の観光拠点としての機能を強化し、持続可能な観光と文化継承の両立を目指す。</p> | | | | | <p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> | <p>★①地域における観光消費額 (+6.75億円) ②伝統芸能ツアー参加者数 (+200人) ③高校生・大学生の観光ボランティア参加数 (+60人) ④新規・再開神楽団数 (+3団体) ⑤伝統芸能ホームページアクセス数 (+10,000ビュー) ⑥町内主要神楽大会の来場者数 (+700人)</p> |